

県立下妻第一高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

「文武不岐」実践のもと、知・徳・体を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成 グローバルで活躍できる「アントレプレナーシップ」をもった生徒の育成
---

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
①問題解決能力 ②創造的思考力 ③情報分析力 ④主体性	①個人ワークによる授業評価 （テーマ設定から方法立案） ②グループワークによる授業 評価（探究ゼミ選択） アウトプットの学習機会創出 による、プレゼンテーション 能力、自己表現能力、チーム ワーク力などを評価する。	他の生徒との協働が難しい生 徒については、個人活動を軸と させたうえで、担当教員や外部 専門家に相談できる環境を用 意し、個別の状況に応じた支援 体制を構築する。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	ゼミ活動 13のゼミに分かれて、自分の興味関心 に基づきテーマを設定したり、外部連 携を通じた課外活動を実践したりす る。こうした活動を通して、テーマに 関連した専門的な知識・技能を深める とともに、先行研究や取組みを参考に しながら、課題解決や検証の方法につ いて考える。発表会に向けたスライド 資料の作成やプレゼン準備を通して、 表現活動の機会も充実させる。	(附属中学校) 近隣小中学校 県内高等学校 県外高等学校 茨城大学 千葉大学 下妻市役所 株式会社 LINE ヤフー その他企業	設定した課題の解決に 必要な知識及び技能を 身につけ、探究の意義や 価値を理解することが できる生徒。 実社会や実生活と自己 との関わりから問いを 見出し、自分で課題を立 て、情報分析を経て、ま とめ・表現することがで きる生徒。
3年 (科目 名)	進路探究 これまでの探究活動の成果をまとめ たうえで、自己分析を進め、今後のキ ャリア形成について考える。	ベネッセほか	自己分析を進める中で 自己の在り方生き方を 確立し、高いキャリア形 成意識を持つことがで きる生徒。

様式 1